

TFU ALUMNI BULLETIN

東北福祉大学同窓会 会報



仙台駅東口代々木ゼミ仙台校を取得

4月から通信教育部と東北福祉看護学校が動き出す

東北福祉大学は、仙台駅東口直近に位置する代々木ゼミナール仙台校(仙台市宮城野区榴岡2ノ5ノ4)を取得し、四月から有効活用することになった。駅前という利便性から社会人が多く在籍する通信教育部(通信制大学院を含む)と東北福祉看護学校のほか、生涯学習支援の公開講座や防災士養成研修講座、認知症サポーター講座、地域に根ざした地域共創社会貢献推進など、さまざまな利活用が検討されている。



仙台駅東口キャンパスの外観

東北の玄関口である仙台駅の東口にそびえる地上八階、地下一階のしよしよな建物。敷地面積は約1,940平方メートル(約588坪)、延べ床面積は11,238平方メートルに及ぶ。駅前だけに、企業や飲食店があちらこちらに点在し、活気に満ちている。
本学では社会人向けの通信教育部と東北福祉看護学校をそっくり移すことに決定。通信教育部には総合福祉学部社会福祉学科と福祉心理学科があり、3,845人

大学院に34人(1月現在)の学生が在籍している。
また、本学ステーションキャンパス館にある看護師養成2年課程(通信制)の東北福祉看護学校には396人(同)が学んでいる。いずれもスクーリングや面接授業があり、大学に通う場面が生じる。時間に追われる社会人学生にとっての利便性は格段に上がることになる。
ほかに、同じく社会人を対象にした生涯学習支援の公開講座や防災士養成研修講座、認知症サポーター講座、地域に根ざした地域共創社会貢献推進などの事業展開が見込まれている。
本学は少子高齢社会を見据え、既存のキャンパスと新キャンパスを活用して、学都仙台の一翼を担う教育機関として、社会の発展に貢献しようと考えている。

定年を迎えた小松紘教授が教え子に最終講義

温厚な人柄と碩学で多くの学生から慕われる福祉心理学科の小松紘教授が平成26年度で定年を迎えることから1月10日、323教室でかつての教え子であるゼミ生ら約40人を前に最終講義を行った。卒業年度は53年から03年のゼミ生で、司会は教え子の一人、本学情報福祉マネジメント学科の大内誠教授が務めた。

講義は問はず語りで始まった。夕鶴や浦島太郎の物語、グリム童話に触れ、「日本と欧米の子ではとらえ方、民族性が違う。お母さんが語る姿勢、優しさは子どもが幼い時に形成される。人間性をつくるうえで7割は母親、社会性の7割は父親がつくる。子は親の姿、



ユーモアを交え話す小松教授

言葉聞いて成長する。とても大事だ」と力を込めた。「子は母親と絶対的に結びついていて。心臓の音、子宮内音。魔法のように泣いていた子に聞かせると泣きやむ。生理、生物学的に結びついている。母親の子に対する愛に対して、父親の出る幕はあるか。最後にある。家族全体を守ることであり、かっこいい。大事な役割だ」とユーモアを交えて話した。最後に「皆さんと出会ったことが一番よかった。私の宝だ。家内も認めている。本当に福祉大の学



小松紘教授を囲む卒業生

同夜は、北は北海道、南は佐賀県から駆けつけたゼミ生54人と秋保温泉で旧交を温めた。
小松教授は東北大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程を経て昭和49年4月に講師として着任。助教授を経て同60年、教授に昇格。平成7年に博士(文学)取得。40年に及ぶ教職の間、体育会会長、ウエルネスセンター長、福祉心理学科長、感性福祉研究所副所長、障がい学生支援室長などの要職を務めた。4月から名誉教授、特任教授に就任予定。

岩田選手がツアー初優勝

フジサンケイクラシック



優勝杯を掲げる

プロゴルファー・岩田寛選手(平14社福卒)が9月7日、フジサンケイ・クラシック最終日(山梨県富士桜CC、パー71)で、66をマークし、通算10アンダーの274でツアー初優勝を飾った。岩田選手は既にツアー2勝を挙げている宮里優作選手の大学同級生で、平成26年の国内賞金ランキングは過去最高の4位、世界ランキングは67位(12月末時点)と大きく前進した。
ツアー初優勝は本学関係のプロでは11人目(男子9、女子2)、通算48勝(男子40、女子8)になる。新年の1月6日、仙台市内のホテルで「感謝の集い」を開催。政財界から来賓や支援者、プロゴルファー、大学ゴルフ部関係者ら約500人が参加し、にぎわった。
ゴルフ部の大竹榮部長が「今日あるのは皆さまの支援の賜。本人は感謝の気持ちで、世界に飛躍してほしい」と激励の言葉を贈った。
岩田選手は「ツアー初優勝に満足していない。今後、米ツアーで勝つためにも一層精進する」と決意を述べた。

チャリティカレンダーにご協力を

ストリートチルドレン

現在、世界の子どものうちの20人に1人が路上生活を余儀なくされ、一般的にストリートチルドレンと呼ばれている。彼らは戦争・紛争、貧困、家庭環境の崩壊などにより、物乞いやごみ拾い、日雇いの仕事を探したりして、路上で生活を送っている。そんな子どもたちに特化した芸術祭として二〇一五年にストリートチルドレン芸術祭が誕生した。

同芸術祭ではチャリティカレンダーを販売しており、カレンダーの制作は昨年で十年目を迎えた。収益金は海外のNGOなどを通じてストリートチルドレンへ送られる。
二〇一五年のテーマは「幸せ」。世界にはたくさん「幸せのカタチ」がある。私たちは、世界中の子どもたちから「幸せ」をテーマに絵を描いてもらい、子どもたちの想う「幸せのカタチ」を知り、感じたいと思っている。
十一月三十日には仙台市の藤崎デパート正面のアーケード前で展示販売を実施した。
日々、懸命に生きていく子どもたちのために、チャリティカレンダーにご協力ください！



11月30日に販売会を実施

通信教育部からのお知らせ

「仙台駅東口キャンパス(仮称)」新設にともない、通信教育部・通信制大学院事務室は四月より東口キャンパスに移転予定です。また、スクーリング・科目修了試験についても多くを東口で開催できるよう準備を進めています。
利便性が高まります。ご来仙の際はぜひお立ち寄りください。また、スクーリング時に社会福

松山選手ツアー6勝目

米ツアーを主戦場にするプロゴルファー松山英樹選手が11月23日、今季国内2戦目のダンロップ・フェニックス・トーナメント(宮崎県フェニックスCC#7、027、パー71)で大会初優勝を飾った。ツアー通算6勝目。
三日目を終え、2位に2打差の首位で迎えた最終日。この日ベストスコア63をマークした本学の先輩・岩田寛選手と通算15アンダーで並び、プレーオフに持ち込んだ。こうなると負けない。松山は6月の米ツアー、メモリアル・トーナメントでケビン・ナ(米国)をプレーオフ1ホール目で振り切り、初優勝したときの粘り強さを発揮。1ホール目早々に決着をつけた。

今大会はスポンサー契約を結ぶホストプロという立場であり「勝ちたかった大会」と、笑顔がはじけた。米国から参戦した14年マスタートズ2位のジョーダン・スピース(3位タイ)らを退けての優勝。夢のメジャー大会制覇にまた一歩近づいた。

中学生から見た本学

如一行

大学の施設見学と称して、さまざまな組織、団体が本学を訪問している。平成26年の実績は4月から11月にかけて、小学校から中学校、高校のPTA、支援学校、民生委員、社会福祉協議会まで30団体を超え、年齢層も幅広い。中でも多いのが中学校からの見学で、約半数を占めている。地域も宮城県全域から福島県、山形県と広範囲に及ぶ。
▼訪問時間は約90分から2時間が大半で、先方の希望を聞きながらおまかな見学コースを用意している。まず初めに介護実習室に案内。百聞は一見にしかずではないが、現場を見てもらうのが一番であり、ベッドや車イス、食器類、浴槽に至るまで案内役の職員が丁寧に説明する。続いて坐禅堂。一年生の必修科目「禅のこころ」で新入生は必ず坐禅を体験すると話す。一緒に興味津々の表情を浮かべる。仏教専修科の先生が丁寧に説明するもの好評だ。▼生徒が関心を寄せることの一つに講義風景がある。希望に沿えるよう3号館の講義風景を廊下伝いに見学し、学生の授業に臨む様子などを外から見る。残り時間は音楽堂でゆったりとイスに座りながら、大学の概要説明を聴く。国見祭で、ゴールデンボンバーやいきものがかり、コブクロなどが公演したと話す。皆驚きの声を上げる。また、生徒の質問には積極的に答える。▼見学後、数日してしばしばお礼状が届く。彼らがどんな気持ちで大学を後にしたのか気になる中、便箋に書かれた内容に勇気づけられる。「学生食堂で困っていたら、学生が優しく教えてくれた。私も福祉大の学生のようにになりたい。やはり学生あつての大学だと思われたい。紹介を歓迎いたします。」(国見 太郎)



昭和34年 (1959年) 当時

高まる四年制大学への機運 校舎・一号館が完成

東北福祉大学は一八七五年(明治八年)に曹洞宗専門学支校として誕生した。幾多の変遷を重ね一九五八年(昭和三十三年)に短期大学になり、六二年(同三十七年)に四年制大学に昇格、社会福祉学部社会福祉学科を設けた。短大時代から数え、卒業生は四万四千人(通信を含む)を超えている。さて、大学の時々を振り返るシリーズの29回目は、短期大学二年目の一九五九年(同三十四年)を取り上げる。四年制大学への昇格機運が高まる一方で、工費の工面に翻弄されながらも、校舎・一号館が完成した。

やむなく校地売却

短大二年目にして早くも浮上したのが四年制大学への昇格だった。短大では取得資格が社会福祉主事の任用資格と中学校社会二級普通免許状、保母資格に限られたが、四年制では身体障害者福祉司、精神薄弱者福祉司、児童福祉司などの任用資格も取得でき、教育環境が格段に向上する。四年制大学昇格に欠かさないのが大学用校舎(鉄筋コンクリート四階建て618坪、約2,039㎡)の建設だった。問題は建築費の工面。六月十日の理事会で決まった予算編成も、その後、建設

頑張ってます 今も昔も



右が講堂、左が完成した1号館

社による工事の都合から支払いが前倒しになる事態に追い込まれた。焦燥感を募らせた学園当局は校地の売却にカジを切った。十月一日の理事会で、朽木正巳学長は「交渉する金融機関から土地を処分する以外に方法がない」と要請された旨を告げた。そこで校地13,945坪のうち約54%に当たる7,500坪を整理し、必要に応じて処分することがやむなく承認された(ちなみにその後、買い戻され現在は9,047坪)。新校舎が完成し、落成式は十月十二日、宗務総長をはじめ、約二百人の来賓が駆け付け、約一時間に行われた。盛大に執り行われた。一方、十一月二十一日の教授会で、学長から四年制大学の申請は、昇格の要件を満たすまでに至らず翌年度は不可能となり、代わりに専攻科を設け、四年制への足がかりにすることが報告された。翌三十五年四月、専攻科に入学した学生は入学定員十人を上回る十三

当時短大2年の4人が訪問

短期大学の第一期生四人が九月二十九日、本学を見学に来た。短大が誕生した昭和三十三年四月に入学、同三十五年三月に卒業した。四人は保母課程に所属し、卒業後も交流を続けている。白石市役所を定年退職した三浦操さんを幹事役に、仙台市内の保育所で保母職を全うした高橋京子さん、山形県内の精薄児施設で指導員を務めた金子(旧姓・鈴木)良子さん、岩手県内の病院でケータイを稼いだ浅海(旧姓・



左から三浦、高橋、浅海、金子さん

都の駅伝 過去最高の16位

舞台を大阪から仙台に移して十年目になる第三十二回全日本大学女子駅伝対校選手権(都の都駅伝)が秋晴れの十月二十六日、仙台市陸上競技場から仙台市役所前までの六区間、38.0キロメートルで争われた。全国から26チームが参加。八年連続十二度目の出場を果たした本学は前年の20位から16位にまで順位を上げ、二〇〇九年に記録した19位を更新した。一区の出口聡子(三年)が区間14位で双子の姉・園子(三年)にタスキを渡した。妹の勢いを維持し、三区の石山由佳(三年)につないだ。「前の二人が頑張った。私は持てる力を出すだけ」と集中



力走する3区の石山選手(左)

タイムは2時間11分27秒。前年を上回り、日体大、東洋大、筑波大と関東の大学より初め

新設学部学科情報

二〇一五年(平27)四月から教育学部教育学科と総合福祉学部新たに福祉行政学科(入学定員一〇〇人)が誕生。合わせて総合福祉学部社会福祉学科の入学定員は一〇〇人増の四〇〇人になる。これらにより次年度からの入学定員は二〇〇人増の一、三〇〇人になる。教育学部教育学科は従来の総合福祉学部社会福祉学科と子ども科学部子ども教育学科が教育の名の下に、改組・統合される形になる。初等教育専攻(同二二〇人)では保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭などの資格が取得できる。中等教育専攻(同四〇人)は中学校教諭(社会)、高等学校教諭(地歴・公民)、図書館司書、博物館学芸員などの資格が得られる。また、専門性の高い教員を育成するため大学院の教育学研究科、教育学専攻の修士課程の四月新設も認可された。福祉行政学科は、地域の課題を行政面から解決する視点をもつ。将来、地方公共団体や公共性の高い企業、組織で活躍できる人材を育成する。



竹永先生の教え子

梅原 道子さんの四人。三浦さんらによれば一期生百二十人の年齢は最高齢者が五十七歳、平均年齢三十三歳と幅広くだった。国見校地内を見学し、口々に「こんなに様変わりした」「立派になった」「学生は幸せだ」と感嘆の声を上げた。また、芹沢銈介美術工芸館に入り、ロビーで古いアルバムから、今は無くなってしまったかまぼこ型の校舎や先生の顔を探しては、当時を偲んだ。高齢社会に突入した現在、「福祉の充実が必要不可欠」と話し、本学の後輩学生に対する期待は大きい。帰り際に本学災害対策課にそっと立ち寄り、激励金を手渡しした四人。尊い思いに触れたスタッフ一同を感激させた。

体育会各部の成績

- 陸上競技部 全日本大学女子選抜駅伝(12月23日) 富士山本宮浅間大社前・富士総合運動公園陸上競技場7区間、43.4キロ、参加20チーム)
▽本学 2時間30分42秒 14位
ハンドボール部 全日本学生選手権(11月22~26日) 岐阜市メモリアルセンターほか)
▽男子 本学 一回戦敗退
▽女子 本学 一回戦敗退
バドミントン部 東北新人学生選手権(12月8~11日) 青葉体育館)
▽団体 男女とも本学準優勝
卓球部 東北学生連盟会長杯争奪大会(11月1,2日) 栗原市若柳総合体育館)
▽男子 団体決勝 東北福祉大A 3-1 東北福祉大B
▽女子 団体決勝 東北福祉大A 3-1 東北福祉大B
バレーボール部 全日本大学選手権(12月2~5日) 大田区総合体育館ほか)
▽男子 一回戦敗退
▽女子 ベスト16
弓道部 東北学生新人戦(12月6日) 宮城県弓道場)
▽団体 本学 優勝
ソフトボール部 北海道・東北地区大学秋季大会(10月18,19日) 八幡平市)
▽決勝 東北福祉大 4-2 富士大
軟式野球部 東日本大学選手権東北大会(10月9日) 仙台市民球場)
▽決勝 東北福祉大 0-1 仙台大
ゴルフ部 信夫杯日本大学対抗戦(10月30,31日) 埼玉県こだまGC)
▽男子 本学 優勝
▽女子 本学 準優勝

東北福祉大学ホームページ <http://www.tfu.ac.jp>

Table with exam information including dates, subjects, and locations for various departments.

平成27年度 今後の入試情報

■総合福祉学部・総合マネジメント学部・教育学部・健康科学部 入試センター TEL 022-717-3312 FAX 022-717-3332
■大学院 総合福祉学研究所(博士・修士課程) 問い合わせ TEL 022-727-2288 FAX 022-728-6420
■通信制大学院 総合福祉学研究所(修士課程) 問い合わせ TEL 022-233-2211 FAX 022-233-2212



# 同窓会便り①

## 総会の報告

### 北海道十勝地区同窓会設立総会

桑原隆俊氏(昭55社福卒) 北海道内で、同窓会の空白地区だった十勝地区で北海道十勝地区同窓会設立総会を10月25日(土)、開催した。総会に先立って芽室町にある「めむろーどセミナーホール」で記念講演会を行った。一般開放され、総合福祉学部社会福祉学科の阿部裕二教授が、「多様化する生活困窮の実態と支援の方向性」社会保障改革の視点から「をテーマに講演。タイムリーなテーマだったこともあり、同窓会会員や十勝管内の福祉関係者を中心に100名ほどが集まり、熱心に耳を傾けていた。

その後、帯広市のホテル日航ノースランド帯広で、総会と懇親会が開催され42名の参加があった。会長には、準備委員会の会長でもあった馬場敏美氏(昭47産福卒)を選出し、事業計画、予算、役員体制など、すべて満場一致で承認された。特任准教授兼入試センター事務部長の千葉幸喜氏より、大学の現況などについてDVDを交え

### 富山県同窓会

鴻戯 豊氏(平8社福卒)

富山県同窓会第十回総会が9月13日(土)、富山市のホテルグランテラス富山で、小松洋吉教授を来賓として迎え、開催された。本田孝夫会長(昭43社福卒)の挨拶と小松教授の祝辞の後、議事に移り平成二十五年活動報告・決算報告並びに平成二十六年活動計画・収支予算が承認された。また、今後の同窓会活性化のため県内同窓生を把握し、会員増員に向けてこれからの働きかけ方を話し合った。さらには、富山県同窓会が来年

説明を頂いた。参加者は皆、大学のあまりの変わりようにただただ驚くばかりであった。

懇親会では、学生時代の思い出話に花が咲いた。途中、大学の軽音楽サークル「キヤノンブラザーズ」に所属し現在も地元を中心に音楽活動を続けている岩佐彰氏(昭42社福卒)が率いる「岩佐彰with a super session」の生演奏もあり大いに盛り上がった。北海道十勝地区では、長続きせず自然に立ち消えになっていった。今後は母校の発展を祈りつつ、継続した活動ができるようにしていきたい。



北海道十勝地区同窓会

### 新潟県同窓会

三林 けい子氏(昭59社福卒)

九月二十日(土)長岡市けさじろで講演会・総会及び懇親会を開催した。

講演会は「アジアに生きる日本人と外国人の心の絆を求めて」と題して大学から赤塚俊治教授が講演。会員から赤塚教授の話聞きたいとのリクエストに応えていただいた。今まで日本が東南アジアから受けた恩恵を知ることや自分たちがアジアの一員であること、「生かされて生きている」という感謝の気持ちや「人がいて心の絆につながる」という話から、まずは、身近な外国についてもっと関心をもつて生活することが大切だと分かった。赤塚教授の熱意ある

### 北海道札幌地区同窓会

亀 勇一氏(昭52社福卒)

10月18日(土)、札幌地区同窓会が札幌市のホテルポルスター札幌で38名の同窓生の参加を得て開催された。

総会では3年前に北海道6ブロック(函館・空知・旭川・西胆振・釧路・札幌) 10勝地区ブロックで7ブロック目IIの代表者が集まり初めて全道的な会合を持ったことが話された。また、今後も同窓生の交流を北海道全体で持つための準備をしていくことや同窓会員名簿の再整備と若い年代の同窓生の役員参入のための組織づく

り、現役員の留任などが事業計画として承認された。

総会後、総合福祉学部社会福祉学科、庭野賀津子教授が「発達障害のある子どもの理解と支援」をテーマに講演。改めて、発達障害の定義や支援方法を学習する機会となった。当日は北海道各地の特別支援学校で活躍する同窓生の校長先生や教頭先生の方々も多く参加。講演会終了後、平間正志キャリア支援課長からDVDを見ながら学校の現況と来年度の学部変更等について、丁寧な説明を頂いた。



新潟県同窓会

### 山形県同窓会

高橋 潔氏(昭54社教卒)

11月30日(日)、山形市山交ビル7階「ヤマコーホール」を会場に、第12回目となる同窓会を開催した。

31名の参加者だったが、平成以降卒業の同窓生は昨年よりも多く全体の4割を超え、年々若返ってきている。今後多くの参加があることを期待する。

今回は、菅本昭夫東北福祉大学同窓会長を来賓に迎え、また記念講演では、菅原里江講師が「地域で当事者が語ること」(仙台スビーカーズビューローでの取り組みから)と題して、精神保健と精神障がいに関する地域での啓発を通

### 栃木県同窓会

猪野 弘行氏(昭51社福卒)

定例総会は12月14日(日)、宇都宮市のコンセーレで開催された。出席者は11名。

始めに池谷会長が体調を崩し急きよ前会長の小池芳子さん(昭37社福卒)が「福富先生や皆さんに久しぶりにお会いできて嬉し。本県同窓会が母校の発展に寄与できるような皆さんのご協力をお願いしたい」と述べた。来賓として学生生活支援センター長兼法務室長の福富哲也教授から、県立さら清修高校との交流事業など、地域社会との関わりを大切に人材育成に取り組んでいると大学の近況について貴重な報告を頂いた。



栃木県同窓会



山形県同窓会

して偏見や差別を是正しようとする実践での取り組みを話した。

その後、総会に入り引き続き交流懇親会では、学生時代に戻って意気投合し楽しく語りながら、来年の出会いを約束し終了した。

## 開催予告

〈平成二十七年〉

青森県同窓会  
第十五回総会・親睦会  
日にち：七月四日(土)  
時間：十五時  
場所：ホテル青森(青森市)  
「退職者を励ます会」  
日にち：五月十六日(土)  
時間：十九時  
場所：おいらせ(青森市)  
連絡先：石田・井上(浅虫温泉病院内) 017-752-3004

## 熱気は関東から関西へ

芹沢銈介の生誕120年を記念したデザイナー芹沢銈介の世界展」が9月10日から14日間、東京日本橋高島屋、同25日から12日間、横浜高島屋でそれぞれ開催された。

当初、入場者数を1日平均約2,500人と見込んでいたが、フタを開けてびっくり。約3,000人に上り、芹沢作品の人気の高さをあらためて印象づけた。



日本橋高島屋の正面

高島屋は古くから思想家・柳宗悦に注目し、日本民芸の発掘、普及に力を入れている。今回は10年前の生誕110年(名古屋・横浜・日本橋・滋賀・米沢で開催)に続いての巡回だった。

展示会は2部構成で、第1部は「デザイナー芹沢銈介」多彩な造形表現、第2部「芹沢銈介の目」収集した世界各国の美術・工芸品」から成っている。

今回、日本橋と横浜を視察した本学芸員によると「年配者に交じって若い人の来場が目についた。デザインを学ぶ学生や仕事をする人たちが参考のため来たのかも」と手紙を話した。

また、9月14日と21日(再放送)にNHK Eテレの日曜美術館で紹介された宣伝効果や口コミも好反響につながったようだ。

巡回は新年1月7日から京都高島屋、同21日から大阪高島屋、いずれも13日間、開催された。熱気は3月17日から6月17日の2カ月間、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館に引き継がれる。

工芸館スタッフ一同「たくさん卒業生に来ていただきたい」と皆さまのご来場を心待ちしている。

## 東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 展示予定

年	2015年	2015~2016年
月	3月17日(火)~6月17日(水)	9月7日(月)~12月23日(水)、1月5日(火)~1月30日(土)
展示内容	〈特別展〉生誕120年記念 「デザイナー芹沢銈介の世界展」 休館日 日曜	〈特別展〉「芹沢銈介コレクション 中央アジアの衣装」 〈併設展〉「芹沢銈介の作品」「芹沢銈介の私家本」「宮城県のもの」 休館日 日祝日、入試期間(要問い合わせ)



# 同窓会便り②

## 催しの報告

### 昭和41年度卒古希記念集いの会

大橋 誠一氏(昭41社福卒)

昭和42年3月卒業後、宮城県在住の有志が仙台で立ち上げた集いも今年で46回目となった。三年前は岩手・花巻温泉、二年前は福島・東山温泉で、昨年は6月29日〜30日に新潟県弥彦温泉で開催。八都府県から18人が参加した。学生時代の思い出や近況を語り合い、共に元気に古希を迎えることができ、喜びを分かち合い、楽しい一時



昭和41年度卒古希記念集いの会

を過ごした。

今年、6月25日〜26日に仙台・秋保温泉で開催予定。母校訪問も計画。多くの参加をお願いしたい。

## バレー部OB会

佐藤 春樹氏(昭40社福卒)

9月29日(月)、仙台市青葉区「ホテル白萩」で開催し宮城、青森、山形から7名が参加した。

バレーボール部の創始期を築いたOB(勿論OGも)であると感じている我々の会も、今年で7回目。参加できることを喜びとして、物故者への黙祷から始まったが、乾杯すればもう喋りまくってそれぞれの近況報告や懐かしい話に広がった。

今回は、母校の入試センターに所属する鈴木久子課長補佐(昭57社福卒)をゲストに招き、昭和50年代後半の女子部の活躍を現女子を進め、東京での再会を約束した。



心身障がい者福祉研究会

## 心身障がい者福祉研究会

石川 克己氏(昭44社福卒)

平成26年9月27日、山形市内黒沢温泉の「喜三郎」で、心身障がい者福祉研究会同窓会が開催された。地元の岸勝彦さん(旧姓工藤・昭42社福卒)、郷野敏明さん(昭44社福卒)と山形県在住の同窓生が呼びかけ、19名が参加した。仙台、札幌、秋田に続き山形は4回目となる。

仙台在住者から、大学の発展し、様子をそれぞれの下宿先だった場所の更新が紹介された。今でも福祉の仕事をしている者から、永年福祉関係の仕事を務めた者まで、その表情には仕事をやり遂げた満足感があふれていた。



心身障がい者福祉研究会

在学生の活躍を報道で知ると、喜びが一段と増すのは同窓生ならではの感慨であることは、皆に共通したものであった。ますます大学が発展することを願いながら、夜遅くまで困らぬは続いた。

今回は、関東在住者が開催準備に、開催日を毎年10月の第三土曜日に固定する。開催案内については、大学同窓会ホームページと「with」で行う。

一、同窓心友会の活動に際しては、大学同窓会事務局、学科と連携し、西館政彦(49P)・渡辺明・渡辺文子(50P)と会の趣旨を理解して協力を頂ける実行委員が運営にあたる。

二、活動の原資として協賛金千円以上(一人)を募るなどが確認された。

三、活動の原資として協賛金千円以上(一人)を募るなどが確認された。

開催行事の後、風土に移動し、菅本大学同窓会長の乾杯でにぎやかに懇親会が開催された。同窓心友会は、昭和51年ごろに福祉心理学の教職員、学生が学食に集

## 人物登場

「保育士として」

篠原 真奈美氏(昭61社福卒)



篠原真奈美氏

我々昭和50年代後半といえ、今回出席者の方ほとんど職場の中間として、各家庭の働き盛りとして活躍(言い過ぎか)の頃。まさかの定年退職になるものがやってくるとはこれっぽっちも思っていなかったが、今なお意気軒昂だ。

「参加できることの喜び」は格別。今回欠席の方はそれぞれ体調のこと、家庭のことなど色々あり、アしなればならないこともある。うが思い切つて出席し、懐かしい話に花を咲かせようではないか。

昭和61年度卒業後、保育士として保育園に就職。福祉大での学びを生かし、現在、園長として40人の職員たちと毎日、乳幼児保育に力を注いでいる。おかげさまで180人の園児が在籍し保護者の協力を得ながら保育園運営をしている。少子化問題が深刻な課題となる中、保育行政が平成27年度から大きく変わり、保育に携わる者として課題は多いが、自分で決めた道、児童福祉のために生涯、力を惜しまない覚悟だ。

卒業して28年。先日、28年ぶりに級友と再会し、白神山地に小旅行した。懐かしい友人との再会は緊張もあり、感動もあり。年相応の容姿に笑いもあった。

今思うと大学時代の経験は大変貴重だった。4年間過ごしたキャンパスで、お持ちかねの先輩の手料理は、新鮮なお刺身と、村上牛のたき、牛すじをじっくり煮込んだ野菜たっぷりのあったか蕎麦。どれも美味しく、もりもり頂いた。

新ストロブを囲みながら、経験談や宝物、文化の素晴らしさへと話は尽きず、「教養は文化を守るために」とのお話が心に残った。

最後は、ほけ封じの御札をいただき、先輩ご夫婦の笑顔に見送られお寺を後にした。

## 日本国山麓「福寿院」へ

丸山 吉之氏(平3社福卒)

11月22日、辺見宗典大先輩(昭46社福卒)のお宅を三林けい子さん(昭59社福卒)、清野京子さん(平8社福卒)、丸山で訪問。

きつかけは、9月の総会後の懇親会でとても盛り上がり、「美味いものを用意しておく」の優しい言葉に手を挙げ日帰りで実行。

辺見先輩は大学卒業後、新潟信愛病院に勤務され、退職後は故郷に戻り住職として10年ほど経過。目指すは県境村上市の日本国山麓「ほけ封じ観音無量山福寿院」。

先輩から、お寺の役割をお聞きし見学。貴重な工芸品や絵画など宝物を手にした時は興奮で手が震えた。

お持ちかねの先輩の手料理は、新鮮なお刺身と、村上牛のたき、牛すじをじっくり煮込んだ野菜たっぷりのあったか蕎麦。どれも美味しく、もりもり頂いた。

新ストロブを囲みながら、経験談や宝物、文化の素晴らしさへと話は尽きず、「教養は文化を守るために」とのお話が心に残った。

## 同窓会発足予定・静岡同窓会

佐々木 隆志氏(昭59社福卒)

東日本震災以降、母校(東北福祉大学)の状況がとも気になっていた。そこへ静岡市内の同窓生有志の方々が東北福祉大学出身者にお手紙を送ってくださり、寄付を募る活動が開始された。

その時、母校の同窓会組織が静岡県内に立ち上がっていただければいいな形では本部と情報を共有し、支援できるのではないかと思案していたところだった。平成26年度中に同窓会を立ち上げる準備に着手。杜の都仙台の思い出は数々あり、その強い思いで活動をしていく。

私自身も昭和54年度に社会福祉学部を卒業し、現在静岡県に在住している。以前より、「静岡県内に同窓会があった方がよいのでは」との意見が一部で言われている。そこで、今回静岡市内の同窓生有志が発起人となり、同窓会立

ち上げ準備に拍車がかかっている。11月18日、同窓会立ち上げのため、母校を訪問した際、菅本昭夫先生が同窓会会長となっており、私共が大学院在学中、菅本先生が大学院研究科の事務長だったので当時の思い出が脳裡をよぎった。

静岡同窓会立ち上げ準備会は、下記の日時で開催するので、是非ご参集ください。

【静岡同窓会立ち上げ準備会】  
日時：平成27年3月7日(土) 15時  
場所：静岡県総合社会福祉会館  
シズエル103会議室  
〒420-08670 静岡市葵区駿府町一七〇  
会費：四千元

【問い合わせ先】  
tfu.shizuka@yahoo.co.jp

## 母校訪問

群馬県同窓会

神小柴 平幸氏(昭51社福卒)

群馬県同窓会が発足して十三回目の総会を迎えた7月19日、初めて同窓会として、母校訪問を行った。

参加者は、上は六十歳から、下は二十代の方までの七名。

仙台の美味しい物は夕食に取って置き、昼食は学食でとなった。メニューの豊富さにも驚き、更に朝食(百円)があったのがうらやましいと感じた。

構内も大きく変わっていた。芹沢銈介美術工芸館と坐禅堂を案内していただき、坐禅を体験。ステーションキャンパスも見学し、東北

3号館での開会行事の後、小松敏教授から学科開設当時や防音室設置における裏話を話していただいた。参加者は、久しぶりの小松節に当時を思い出しながら聞き入った。

今後の同窓心友会の運営について参加者との協議が行われ、次のように取りまとめを行った。



心理学科同窓会

開催行事の後、風土に移動し、菅本大学同窓会長の乾杯でにぎやかに懇親会が開催された。同窓心友会は、昭和51年ごろに福祉心理学の教職員、学生が学食に集



日本国山麓「福寿院」へ

お持ちかねの先輩の手料理は、新鮮なお刺身と、村上牛のたき、牛すじをじっくり煮込んだ野菜たっぷりのあったか蕎麦。どれも美味しく、もりもり頂いた。

新ストロブを囲みながら、経験談や宝物、文化の素晴らしさへと話は尽きず、「教養は文化を守るために」とのお話が心に残った。

最後は、ほけ封じの御札をいただき、先輩ご夫婦の笑顔に見送られお寺を後にした。

お持ちかねの先輩の手料理は、新鮮なお刺身と、村上牛のたき、牛すじをじっくり煮込んだ野菜たっぷりのあったか蕎麦。どれも美味しく、もりもり頂いた。

## 事務局から

ホームページを公開中

同窓会の開催予告、開催報告等の配信をはじめ、氏名・住所変更の手続きができます。

なお、氏名・住所変更の際には会員番号が必要となります。(宛名氏名の右下に掲載)

ホームページアドレス：  
http://www.tfu.ac.jp/alumni